

## 令和5年第1回定例会 経済建設常任委員会審査記録（1日目）

- 1 日 時 令和5年3月10日（金） 午前10時00分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 請願第1号 「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。  
抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願書  
議第38号 令和4年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第6号）  
議第16号 令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算
- 4 出席委員（6名）
 

1番 渡 辺 昌 君	2番 河 村 幸 雄 君
4番 川 村 敏 晴 君	5番 大 滝 国 吉 君
6番 本 間 善 和 君	7番 尾 形 修 平 君
- 5 欠席委員（1名）
 

3番 川 崎 健 二 君
--------------
- 6 地方自治法第105条による出席者
 

議 長 三 田 敏 秋 君
---------------
- 7 委員外議員（1名）
 

上 村 正 朗 君
-----------
- 8 説明のため出席した者
 

副 市 長	忠 聡 君
農 林 水 産 課 長	小 川 良 和 君
同 課 農 業 振 興 室 長	中 川 博 之 君
同 課 農 業 振 興 室 副 参 事	菅 井 学 君
同 課 林 業 水 産 振 興 室 長	伊 藤 幸 夫 君
同 課 林 業 水 産 振 興 室 副 参 事	臼 井 信 一 君
同 課 み ら い 農 業 創 造 推 進 室 長	高 橋 和 憲 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	八 藤 後 茂 樹 君
地 域 経 済 振 興 課 長	田 中 章 穂 君
同 課 経 済 振 興 室 長	富 樫 充 君
同 課 経 済 振 興 室 副 参 事	玉 木 善 行 君
同 課 経 済 振 興 室 係 長	鈴 木 清 美 君
観 光 課 長	永 田 満 君
同 課 観 光 交 流 室 長	片 岡 昌 幸 君
同 課 観 光 交 流 室 主 幹	小 池 一 栄 君
同 課 観 光 交 流 室 副 参 事	園 部 和 枝 君
同 課 観 光 交 流 室 係 長	増 子 正 臣 君
荒 川 支 所 産 業 建 設 課 長	渡 邊 修 君
神 林 支 所 産 業 建 設 課 長	斎 藤 雄 一 君
朝 日 支 所 産 業 建 設 課 長	鈴 木 健 次 君
山 北 支 所 産 業 建 設 課 長	小 田 和 弘 君
- 9 議会事務局職員
 

局 長	内 山 治 夫
書 記	中 山 航

---

(午前10時00分)

委員長(尾形修平君)開会を宣する。

○本委員会の審査の順序については、請願第1号について請願者の意見を聞くこととしたので、請願の審査において協議会を開催し、委員会再開後、審査日程どおり付託議案の審査をすることに異議なく、また、議会申合せにより請願者の説明及び質疑の間は休憩として会議録に残さないこととし、そのように決定する。

委員長(尾形修平君)請願者(内山雄平氏、森川信夫氏)を入室させる。

---

**日程第1** 請願第1号 「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都府県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願書を議題とし、紹介議員(上村正朗君)から補足説明を受けた後、請願者(内山雄平氏)から請願の趣旨について意見陳述を受けた後、審査結果を文書で通知する旨を伝えて退席または傍聴させ、審査に入る。

(補足説明)

上村 正朗 皆さん、おはようございます。本請願の紹介議員の上村である。請願第1号 「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都府県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願書についてだが、請願の趣旨については、本定例会初日の本会議で補足説明をさせていただいた。また、請願者は本日趣旨説明においてなので、私からの補足は手短かに終わらせたいと思う。給与収入の格差は、収入の少ない地域の人口流出、人口減少につながる。生活できる水準で全国一律の最低賃金制度の確立と、中小企業に対するきめ細かな支援が必要だと考えている。経済建設常任委員会の皆様には請願趣旨をご理解いただき、ご賛同を賜ることをお願い申し上げて、紹介議員からの補足説明とさせていただく。どうぞよろしくお願いいたします。以上だ。

委員長(尾形修平君)暫時休憩を宣する。

(午前10時04分)

---

委員長(尾形修平君)再開を宣する。

(午前10時22分)

(審査)

尾形委員長 これから審査に入る。初めに自由討議を行う。自由討議はないか。

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(討論)

川村 敏晴 先ほどの質疑でもお聞きしたとおり、最低賃金の額、ここに対してやはり今の新潟県の最低賃金の額との差があまりにも大きい。我々消費者目線で物を考える必要も当然あるが、企業側の経営努力を最大限したとしても、なかなか時給の倍増までに

は厳しい状況であるというふうなところも考えていかなければならないだろうというふうなところから、趣旨については理解したところであるが、この意見書の文言そのものをそのまま採用するというふうなことになる、やはり経営者負担の急増にも関わってくるので、なかなかこのままでは私自身は賛同はしづらいのかなというふうに感じている。以上だ。

大滝 国吉 考え方については納得いくのだが、全国一律で最低賃金の制度を改正するということは、なかなかその地域、地域の事情があり、やはりそれを同一にするというのは難しいのではないかなと私は考えているので、この案件にはなじまないと思う。

以上で質疑及び討論を終結し、起立による採決を行った結果、請願第1号は、起立少数にて不採択すべきものと決定した。

委員長（尾形修平君） 暫時休憩を宣する。  
（午前10時25分）

委員長（尾形修平君） 再開を宣する。  
（午前10時33分）

**日程第2** 議第38号 令和4年度村上市葡萄スキー場特別会計補正予算（第6号）についてを議題とし、担当課長（観光課長 永田 満君）から議案の説明を受けた後、質疑に入る。

（説明）

観光 課長 おはようございます。よろしくお願ひいたす。それでは、議第38号 令和4年度村上市葡萄スキー場特別会計補正予算（第6号）についてご説明いたす。補正の内容といたしては、既決予算の財源といたして市債を追加することに伴い、歳入予算の組替えを行うものである。歳入歳出予算の総額に増減はない。8P、9Pを御覧ください。歳入においては、第3款繰入金で一般会計繰入金2,030万円を減額し、第6款の市債でスキー場整備事業債2,030万円を追加しようとするものである。10P、11Pを御覧いただきたいと思う。歳出においては増減はない。財源の更正である。3Pに戻っていただいて、第2表の繰越明許費は、翌年に繰越しして使用できる経費といたして2,920万円を計上いたした。これは、降雪により一時中止いたした災害復旧工事に係る経費である。4Pをお願いいたす。第3表、地方債の補正は、スキー場整備事業債の限度額について、今回の補正に伴って、1,540万円から3,570万円に変更しようとするものである。説明は以上である。よろしくお願ひいたす。

（質疑）

（「なし」と呼ぶ者あり）

（自由討議）

（「なし」と呼ぶ者あり）

（討論）

（「なし」と呼ぶ者あり）

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第38号については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

**日程第3** 議第16号 令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算を議題とし、担当課長（観光課長 永田 満君）から説明を受けた後、質疑に入る。

（説 明）

観光 課長

それでは、議第16号 令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算についてご説明させていただきます。予算書の265Pからとなる。令和5年度村上市蒲萄スキー場特別会計歳入歳出予算の総額は、それぞれ1億6,650万円で計上させていただいている。前年度と比較いたして1億1,280万円の増額となっているが、これについては、昨年発生いたした大雨による災害復旧に係る経費が主な要因である。歳入歳出の内訳についてご説明いたします。まず、歳入についてだけれども、272P、273Pを御覧ください。歳入について、令和5年度の営業については、12月23日から令和6年の3月3日までといたして、今年度同様72日間の開設期間を予定させていただいている。まず、1款のスキー場売上金はスキー用品等の売上げ、それから2款の一般使用料はリフトの使用料であるが、例年の実績を踏まえて計上させていただいている。3款の一般会計繰入金で1,470万3,000円の増額となっている。5款の雑入については、それぞれ例年並みで計上している。6款の市債では、スキー場整備事業債9,810万円を計上し、主に災害復旧、災害対策に係る経費に充当することとしている。次に、歳出についてであるが、274P、275Pを御覧ください。1款1項1目一般管理費の説明欄を御覧ください。説明欄の1、蒲萄スキー場一般経費については、安全統括管理者の報酬をはじめ、一般的な管理運営費について、例年並みに計上させていただいているものである。説明欄の2、蒲萄スキー場運営経費では、事務補助員及び現場作業員の賃金をはじめ、例年並みの運営経費を計上しているほか、災害復旧に係る経費について増額で計上させていただいている。測量設計等委託料では、大雨により被害を受けたグレープロードの災害復旧に伴う測量設計業務の委託料を計上させていただいている。工事請負費については、1億697万4,000円計上しているが、内容といたしては、第2ペアリフトの通信線整備のほか、グレープロードの災害復旧、災害対策工事を予定している。次に、2款の公債費についてであるが、274P、275Pと次の276P、277Pになる。1目の元金の起債償還元金は、昨年同様平成27年度のスキー場山麓トイレの改修工事と平成29年度のスキーセンターの改修、それから圧雪車の購入分を計上させていただいているものである。また、2目の起債償還利子については、今ほど申し上げた元金に基づく利子の分の合計となる。それから、予備費といたして、前年度同様20万円を計上させていただいている。令和5年度蒲萄スキー場特別会計予算についての説明は以上であるが、蒲萄スキー場の今後の方針について、現在公共施設マネジメントプログラムに基づいて協議を進めていて、地元の関係者との話し合いを行っているところであるが、令和5年度については引き続き営業のほうを行うこととしているので、本予算についてご承認いただくようよろしくお願いいたします。以上である。

（質 疑）

渡辺 昌

予算ではあるけれども、3月5日に終了した今年度のシーズンの利用状況について教えてください。

観光 課長 令和4年度については、12月25日から3月の5日まで開設させていただいているけれども、利用者合計で6,194名ということだった。昨年が7,631名ということで、1,400人ほど減少している。

渡辺 昌 去年は新潟日報のJRのところに蒲萄スキー場の名前がなくて、そのこともこの委員会で言ったし、今年度、今シーズン蒲萄スキー場のポスターが作成されていなかったと思うのだ。今の時代なので、ポスターよりもSNSのほうが効果的には利用者層を見てもそうだと思うのだけれども、ポスター作成されなかった理由について教えてください。

観光 課長 今ほど委員のほうからもあったけれども、やっぱり最近SNSとかインターネットのほうが若い人は特に主流になっているので、去年は印刷したけれども、3年に1回ぐらいは印刷をしようというような計画で、基本的にはインターネットとかSNSを活用して広報するというようなことで今考えている。

渡辺 昌 そういふのであれば、事前に地元のほうに十分説明した上でやらないと、ちょうど令和4年度に関しては、公共施設マネジメントプログラムの関係もあって、かなり住民の方、関係者の方心配されているので、その辺のところを十分説明していただきたいと思う。それと、今ほど地元の方との協議、話し合いするってあったのだけれども、それも一つ大事だけれども、かなり利用者の方からもスキー場の存続に関してはいろんな意見いただいているところであるので、以前の一般質問の中にも市長答弁の中に利用者の方との話し合いもというような話あったと思うので、今後の中にそういう、地元だけではなくて、利用者との話し合いについてはどのように考えているのか教えてください。

観光 課長 まず、地元の関係者の方ということで話をさせていただいているけれども、今後はそういった利用者も含めて話し合いのほうを進めていきたいというふうに考えている。

大滝 国吉 昨年より1,400人も減っていると。今年は雪質もよくて、休みのときにはちょうど天気もよくて、俺は入っていたのだからかなと思っていて。減っている要因というのは分析しているか。

観光 課長 やはり一番大きいのは、グレープロードが水害によって使えなかったというのが一番大きいかと思う。実際学校スキー授業のほうも、グレープロードができないということによってキャンセルが出て、結果1校しか行われなかったし、やっぱり子どもさん、親子連れの数が減ったものというふうに考えている。

大滝 国吉 今集落との相談、懇談会もしているということだが、その内容的なことを、話せるところでいいのだが、どういう話までしているのかお聞かせください。

観光 課長 現在のところは、蒲萄スキー場の現状、それから利用者の状況だとか、そういった現状、従業員の関係だとか、そういったところを現状を説明いたして、あとは市で考えている課題だとか、そうした部分について説明をさせていただいているところである。

大滝 国吉 第2リフトの休憩所の小屋だか、あれはもう大分古くなってきているし、大分修繕も必要だし、個人でやっているところもあるみたいだが、その辺のところの集落として今後どのような考え方をしているとか、そういうのは聞き取っているか。

観光 課長 まだはっきりとした話はないけれども、やはり携わっている方も高齢になってきていて、食堂に関しても厳しくはなっているというふうな話はいただいている。

大滝 国吉 建物の改修とか、そういうのは今後どういふふう考えているのか。

観光 課長 その辺もマネジメントプログラムの方向性によって、併せて検討していきたいというふうに思っている。

大滝 国吉 あと、修繕料500万円くらい載っているのだが、これは内容はどんなところか。

観光 課長 毎年リフトを営業前に点検しながら修繕をしているところであるし、圧雪車についても、シーズン前に点検をしているので、その際に出た修繕というふうに見ている。

大滝 国吉 工事請負費で1億円何がしあるのだが、これシーズンまでには間に合わせて、来シーズンからは使われるようになるという予定だよ。

観光 課長 今回も8月の水害で被害を受けて、シーズンに間に合うような形で進めてはいたのだけれども、12月に改めてまた崩れたものだから、間に合わなかったというところがある。来年度については、本工事までできるかどうかというところはまだはっきりしないところも、調査しないと分からない部分もあるけれども、仮復旧の中で使えるような形で進めていきたいというふうには考えている。

河村 幸雄 経営改善に向けた考え方として、サービス向上や料金の見直しなど、このたびであれば電気代が相当の高騰ということで、前年度と比較した料金への見直しなんていうことは当然進めて臨んだと思うけれども、その辺教えてください。

観光 課長 今回については、確かに燃料だとか、そういったことはあったのだけれども、なるべく大勢の方に使っていただきたいということもあったので、見直しは行わずに据置きということでやらせていただいている。

河村 幸雄 確かに経営の面でも相当市の負担もあるし、そういう積み重ねという、努力というようなことは、やっぱり商売をするということではもう大切なことなのかなというふうに思う。それと、課題を検証したり、地元関係者と協議を進めるというのは、毎年そういう話は聞いているけれども、指定管理の導入や、または廃止するなどの方向性を検討するということがあったけれども、市の考え方としてはまだ話合いの段階か。こういう経営状況の中で、例年どおりの運行でというのではなくて、もっと厳しい部分も考えながら臨まないということを私は言いたいものだけれども。

観光 課長 一定の方向性はあるけれども、ただやっぱり関係者との協議のほうは丁寧にしていかなければならないということがあるので、最終的な決定には至っていない。

河村 幸雄 全ての設備の老朽化やスキー客の減少、そして資金も大変だ、そんな中で経営するにはどうだということを考えながら、考えていないとは言わないけれども、毎年やっぱり地域の方の思いも考えれば、継続していこうという気持ちも分からなくてもないのだけれども、この辺でもしっかりお互い一つ一つ答えを出していかないとというふうに思うので、どうぞよろしく願いいたす。

川村 敏晴 河村委員と同様の視点での質問になるけれども、今の課長の答弁では、マネジメントプログラムの市の方針について、明確に我々理解する答弁ではなかったかなと思うので、これ地元協議というのは地元の方が存続を望んでいる声、これを無視はできないという思いがあるということも我々も議員の一人として理解はできるが、ただやはり経営という側面から見ると、多大な行政経費に負荷がかかってきていることも、これ明白な事実である。その調整というふうなことなのだろうと思うが、やはりどこかで一つの区切り、英断をせざるを得ない時期に来ているとは思っているのだが、そこに対してしっかりと、まずこの部分についてはこうならなければ存続できないとか、存続するのだとかというポイントがあるのだと思うのだ。当然それがなければ、マネジメントプログラムを決定できないだろうと思うので、毎回気になっていた一点として、スタッフの賃金って下げるわけにいかないだろうから、年

々上がっていかざるを得ないので、では経費的に何をというかと、地権者の方にご理解を得るにはやはり賃料を調整してもらうというふうなことは委員会でも出ていたのだが、マネジメントプログラムのポイントの中に地権者の土地料金の調整がああだこうだということでは入っているものなのだろうか。

観光 課長  
川村 敏晴

庁内での検討の中には、その件については入っていない。  
災害復旧に係る工事いろいろ入れれば、1億円超える金額になっている。方向的には継続を前提としていなければ、そのような経費は出せないのだろうと思うが、そこは地元も存続を強く望むのであれば、いろんなところの調整は必要になってくるのではないかなと思っているので、その理解を市全体で、市民全体での理解が得られるようなマネジメントプログラムの決定をやはりいい方向で落としどころをしっかりとつくっていくような中身の調整が必要であろうと思うのだが、副市長、その辺についてどんなお考えなのかお聞きしておきたいと思う。

副市長

いろいろご意見、ご指摘をいただきありがとうございます。今観光課長が申し上げたように、マネジメントプログラムに基づきながら、特に地元の皆様方と話し合い、協議に入っているわけであるけれども、観光施設なので、当然経営という視点は大事な考え方だ。一方で、小学生の利用、あるいは社会人もそうだけれども、社会教育施設という側面もこのスキー場にはあるというふうに踏んでいて、そういったことから、なかなか経営的には厳しいのだけれども、冬場の体力増進にも役立っていただきたいし、教育面でも一定の効果があるということで取り組んできているわけである。ただしかし、本当に今のこの状態がいつまでというか、もっとさらに経営的にも好転するような手法はないのかというような観点も含めて、庁内ではある意味での方向性は出つつあるのだけれども、先ほどご指摘があったような地元の皆様方、それから利用くださる方々のお声というのもしっかりと受け止めて結論を出していくということになるものだから、計画どおり今年度末まで方向性を出したいということで取り組んではきたわけであるけれども、今しばらく時間が必要だということになっている。代表質問でも市長がお答えしたように、今年の秋をめどに方向性を出したいということで、これまで以上にスピード感を持って検討を進めてまいりたいというように考えているので、まずは令和5年度のシーズンに向けては、災害復旧をしながら開設をさせていただきたいということでお願いを申し上げているわけである。よろしく願いいたす。

本間 善和

副市長今答えたので、私もその点質問しようと思ったのだけれども、あなたに。全部答えたので、秋をめどに本当に集落の皆さんと行政と、どちらの方向がいいのか結論を出していただきたいと思う。1つだけ、課長、聞き落とした点なので、お聞きしたいのだけれども、災害復旧1億円余りの金額を投資するわけなので、あなたの今の分かっている範囲で結構なのだけれども、工事の内容と工事期間というものを、いつまで終わらせるというのを今話せるか。概要は話せると思うのだけれども、最低でも。

観光 課長

8月に崩れた部分と12月に崩れた部分があるのだけれども、12月に崩れた部分については、来年度については設計、調査という形で予定している。8月に崩れた部分については、設計した上で撤去工事、復旧工事を行う予定としていて、年内には終わらせて、スキーシーズンには間に合わせるような形で考えている。

本間 善和

関連だけれども、毎年例年グレンデの草刈りというのは計上されていて、今どこに発注しているのかちょっと分からないのだけれども、そういう工事との関係は影響

出ているのか。工事箇所は草刈りとか云々なんかダブってくるのか、こないのかという質問なのだけれども。

観光 課長 今委託している草刈りについては、メインゲレンデのほうになるので、影響しないというふうに考えている。

尾形委員長 ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

尾形委員長 ないようだけれども、私からもう一点、これ今副市長答弁したように、私も代表質問でさせていただいた。マネジメントプログラムで令和4年度内に結論を、市の方針を出すということが、今答弁されているように今年の秋ぐらいまでということなのだけれども、この話、この葡萄スキー場に限った話ではないけれども、市が検討する、市の方針を示すというのは、そんな時間かかることではないと思うよ、私は、市の方針を決めるということは。だから、代表質問のときに議場で課長にちょっと嫌み言ったけれども、この方針というのは平成26年から諮問を受けて、答申を受けて、民間のほうにやるか、廃止するか、指定管理をするかというのは、平成26年度から検討しなさいよって言われてきたのだよ、これ。それを令和4年度中に結論を出すと言ったのが、また伸びるわけだ。それが俺は行政の、今の村上市の、こんなこと言えば悪いけれども、ルーズさが見えるというか、住民の方との意見交換なんていうのはとっくにしていなければならない話なのだ、何年も前に。だから、これ以上言うと昼間までしゃべらなければならないので、言わないけれども、今副市長言ったように、秋口までにしっかりと結論を出して、委員会のほう、議会のほうに報告していただけるようお願いして私からの意見は終わる。

(自由討議)

(「なし」と呼ぶ者あり)

(討 論)

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で質疑を終結し、自由討議を求めたが自由討議なく、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第16号は、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長（尾形修平君）散会を宣する。

(午前11時02分)